

## CONTENTS

- |                                  |              |                    |                   |
|----------------------------------|--------------|--------------------|-------------------|
| 1 「歴史」とは                         | 経済学部教授：川崎 勝  | 9 図書館広報活動研修に参加して   | 図書館研修生：安田 初穂      |
| 2 学部長おすすめの本                      | 人文学部教授：坂井 信三 | 10 資料紹介 - 旅 -      | 図書選定委員：南部 綾子      |
| 4 データベース、電子ジャーナル：<br>学外からの利用について | 電子情報係：伊藤 法子  | 12 秋の図書館利用講習会のお知らせ | 南山大学図書館秋の企画展のお知らせ |
| 6 図書館からのお知らせ                     | 閲覧・参考係       | 編集後記               |                   |

## 「歴史」とは

川崎 勝

わたしたちは、一体日常的に、「過去」をどれくらい意識して生きているのであろうか。

バブルに踊らされて不動産や株投機に手を出して失敗し、長期的な不況を経験したのは何時であったか。それから束の間の景気浮上。金融自由化の大合唱の中、地方自治体から大学、宗教団体まで、一見高利に見える怪しげな金融商品に手を出して、またもや大失態が、あちこちで繰り返されてしまっている。

バブル崩壊後、不況の長期化を認めたがらない人たちが、「日本はデフレを経験したことがなかったから」と言い訳をしたことは、まだ記憶にあるであろう。そして、サブプライムローン問題に端を発した昨年の秋の金融危機に、今度は「100年に一度の大不況」を合唱している始末である。

1881年からの松方デフレ、1927年の金融恐慌によるデフレ、期間は短かったとはいえ1949年のドッジ＝ラインによるデフレと、近現代の日本はデフレを3回経験していた。それにもかかわらず「日本はデフレを経験したことがなかったから」と言えたのは、おそらく歴史を知らなかったか、歴史の意味を理解（しようと）せずにきたためであろう。

世界史上最大の金融危機、これは1929年にアメ

リカに発した世界大恐慌をさす。つまり、まだ「80年」しか経っていないのである。それを「100年」というのは、これも歴史を知らない無知のなせる業か。そうではない、「世界大恐慌」を知らないはずはないし、知らなければ恥である。つまり、「100年」は「歴史上はじめての経験」にすり替えた言葉なのである。（ちなみに「99年借款」は永久という意味を持つ）

「歴史は繰り返す」。そして、それは、決して同じに、ではない。

歴史を知ることとは、単に「過去」、古いことを知ることではない。「現在」のわたし（たち）が関わることなのだ。

わたしの座右の書。E.H. カーの『歴史とは何か』の一文を引いておこう。「歴史とは……現在と過去との間の尽きることを知らぬ対話である。」「過去は、現在の光りに照らして初めて私たちに理解出来るものであり、過去の光りに照らして初めて私たちは現在をよく理解することが出来るものである」。

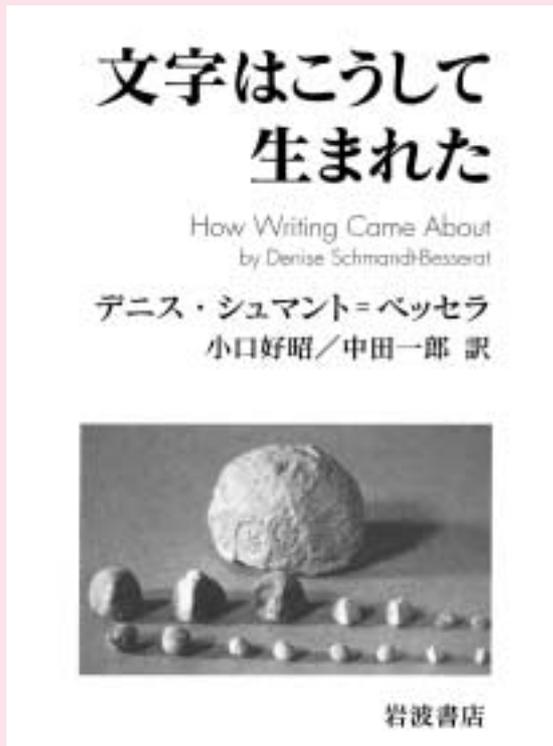
わたしの在職期間は、あと1年有半。歴史を知ることの大切さを、南山大学図書館の豊富な歴史書を通して、語り尽くしたいと思う。

(KAWASAKI, Masaru : 経済学部教授)

## 学部長 おすすめの本

## 文字の起源

デニス・シュマント=ベッセラ著  
『文字はこうして生まれた』と白川静の文字研究をめぐって  
坂井 信三



デニス・シュマント=ベッセラ 著  
『文字はこうして生まれた』岩波書店, 2008年  
[請求番号: 801K/6490]

社会人類学を専門とする私は、西アフリカの内陸地方をフィールドにしている。この地方は、広いサハラ以南アフリカの中でも2000年をこえる歴史をとおして、文明というべき高度に複合的な社会文化的統合を生み出したところだ。ところが不思議なことに、文字は外来のアラビア文字を例外として、文明の形成にそれほど深く関わっていない。西アフリカの文明は、基本的に文字に頼らない口頭伝承の上に築かれているのである。

それに対してアジアとヨーロッパにまたがって展開してきたユーラシアの諸文明はみな、文字を文明形成の不可欠の要因としている。そして実際、現在の私たちの大学も図書館も、文字使用の伝統の上に築かれていることはいうまでもない。

ユーラシアにおいて文字はいくつかの文明圏で独自に発明されたようだが、私たちにとってもっとも関係が深いのは、東アジア起源の漢字と、西アジア起源のアルファベットだろう。私たち日本人はこの二種の文字体系を日常的に使い分けているが、それぞれの起源に関する研究をみると、漢字とアルファベットは本来非常に性格のちがうものであることがわかる。漢字の起源については、数ある研究のなかでも日本の白川静の研究が独創的で示唆に富んでいる。他方アルファベットにつながっていく文字体系については、最近邦訳の出たデニス・シュマント=ベッセラによる楔形文字の起源の研究が非常におもしろい。

中東古代文明の楔形文字は、従来ははっきりした証拠のないまま、何となく常識的に、絵文字から発展したと考えられてきた。それに対してデニス・シュマント=ベッセラは、新石器時代以降の中東各地の遺跡から見つかる、具体的な物をかたどったらしい色々な形の小さい粘土の物体に眼をつけた。長年にわたる研究成果をまとめた著書『文字はこうして生まれた』(How Writing

Came About , 1999、邦訳2008) で、彼女はそうした物体が小麦、羊、布、油の壺などをあ  
らわす「しるし」であり、最初は新石器時代の農村の農産物管理から始まり、都市文明のなか  
で神殿に納入する物資の管理や手工芸製品の管理などにひろく使われるようになった計算具で  
あるとみる。そして彼女は英語でトークンとよばれるこの種の粘土片こそ、楔形文字の起源だ  
という仮説をまとめた。つまり中東古代文明の文字は、原始的な会計術から発生したというこ  
とである。

もちろんこれは一つの仮説で、批判もある。しかし楔形文字から古代フェニキアのアルファ  
ベットを経て現代のローマ字にまでにつながってくる一連の文字の淵源として、非常に興味深  
い考え方だと思う。そこには具体的な事物を分類し、標準化し、計算可能な単位にする概念操  
作と、そうして処理されたものをあらわす記号の操作とを、全体的で体系的な対応関係のもと  
に連動させるという現代の情報管理技術と基本的に同じ論理がはっきり読みとれる。

それに対して東アジア起源の漢字は、非常にちがった性格をもっているようだ。ほとんど独  
学で漢字の起源と発展を跡づける壮大な体系を築いた白川静の研究は非常に独創的で、いわゆ  
る学問的な中国研究、漢字研究の流れの中では異端視されてきたようだが、漢字に古代中国以  
来の東アジアの世界観を読みとろうとする姿勢は大きな魅力をもっている。『字統』(1984)、  
『字訓』(1987)、『字通』(1996)という漢字辞典の三部作は、その研究の集大成である。

彼の漢字に対する見方を一言でいえば、「文字は神であった」ということにつきるだろう。  
彼は文字を書くという行為の背景に、つねに舞踏、奏楽、卜占、祈祷、供犠などの儀礼的行為  
を想定している。彼の解説によれば「舞」「楽」「犠」などの文字はみな象形・会意文字で、儀  
礼的なパフォーマンスを形象化したものである。そして大事な点は、それらの儀礼行為はたん  
なるパフォーマンスではなく、パフォーマンスをとおして無限に複雑な世界をある具体的な経  
験として形象化し、把握し、理解しようとする人間の精神的=心理的=身体的な活動なのだ  
ということにある。つまり彼にとって文字とは、世界を理解しようとした古代中国の人々が、そ  
の理解の内容とスタイルを刻みつけたものなのである。

アルファベットとくらべて漢字という文字体系は、その豊かな形象性、強いイメージの喚起  
能力、そして組み合わせによってさらに複雑なイメージを形成する能力などに特徴がある。そ  
れは伝統的な書や篆刻だけでなく、現代のグラフィックアートをとおして今でもわたしたちが  
経験していることだろう。

私はいま、ローマ字入力による漢字仮名まじり文としてこの文章を書いている。今ではほと  
んどすべての日本人がそうしているだろう。実際アルファベット入力は、情報の素早い処理に  
とても向いている。だが私たちは、ディスプレイ上に表示される漢字の与えるイメージのよう  
な、情報化しにくい情動的な価値にもやはり強くこだわっている。このような文字体系の両面  
性は、知らず知らずのうちに、現代の私たち日本人の表現行為を深く規定しているものなの  
ではないだろうか。

(SAKAI, Shinzo : 人文学部教授)

# データベース・電子ジャーナル 学外からの利用について

MAGAZINEPLUS、ヨミダス文書館、ProQuest、EBSCOhost などのデータベース（DB）や電子ジャーナル（EJ）は南山大学以外の場所からも利用できます。2005年12月から始まったリモートアクセスのSSL-VPN サービスですが、利用方法についてまだ誤解があるようです。学内からの利用との違いを中心にアクセス方法を紹介します。

## 学外から利用するには？

SSL-VPN サービスは南山大学の学部学生・大学院生・専任教職員が対象です。AXIA アカウントおよびパスワードが有効であることが前提ですので、利用する前にご確認ください。

## 学外から利用できるDB、EJは？

南山大学が提供している全てのDB、EJが学外から利用できるわけではありません。図書館 Web ページ <http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/> の【電子ジャーナル・DB】から【名古屋図書館または瀬戸図書館】に進み、DB・EJ一覧でSSL-VPN サービスが利用可能かどうかを確認してください。✓マークのあるDB・EJが利用可能です。

### 名古屋図書館

- ・名古屋図書館では以下の電子ジャーナル・DB(データベース)が利用できます。
- ・マーク説明
  - ① ... Other fulltextサービスが利用できます。(SSL-VPNサービスでは利用不可)
  - ② ... SSL-VPNサービス(学外からの利用サービス)で利用できます。

電子ジャーナル Electronic Journals	
A-to-Z	本学で閲覧可能な雑誌とOECD出版物のリスト(タイトル検索・分野別検索) ✓
データベース Database	
全分野 Full Field	
Cinii	NII(国立情報学研究所)が提供する論文情報ナビゲータ(雑誌記事索引データベース) ✓
MAGAZINEPLUS	国内の雑誌記事索引(国立国会図書館作成の雑誌記事索引を含む)情報、学会年報情報 ✓
日経BP記事検索サービス	日経BP社が発行する約40誌の記事検索 ✓

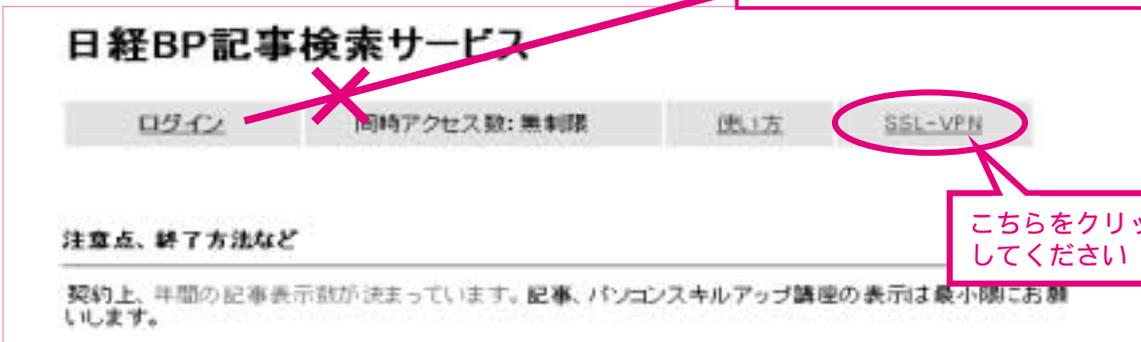
利用したいDBを選択して、各ログイン画面に進みますが、ここで学外からの接続を間違えてしまうことがあります。

## 各DB ログイン画面では？

- 学内からの利用：【ログイン】ボタンをクリックします。
- 学外からの利用：【SSL-VPN】ボタンをクリックします。

× 間違ったアクセス方法

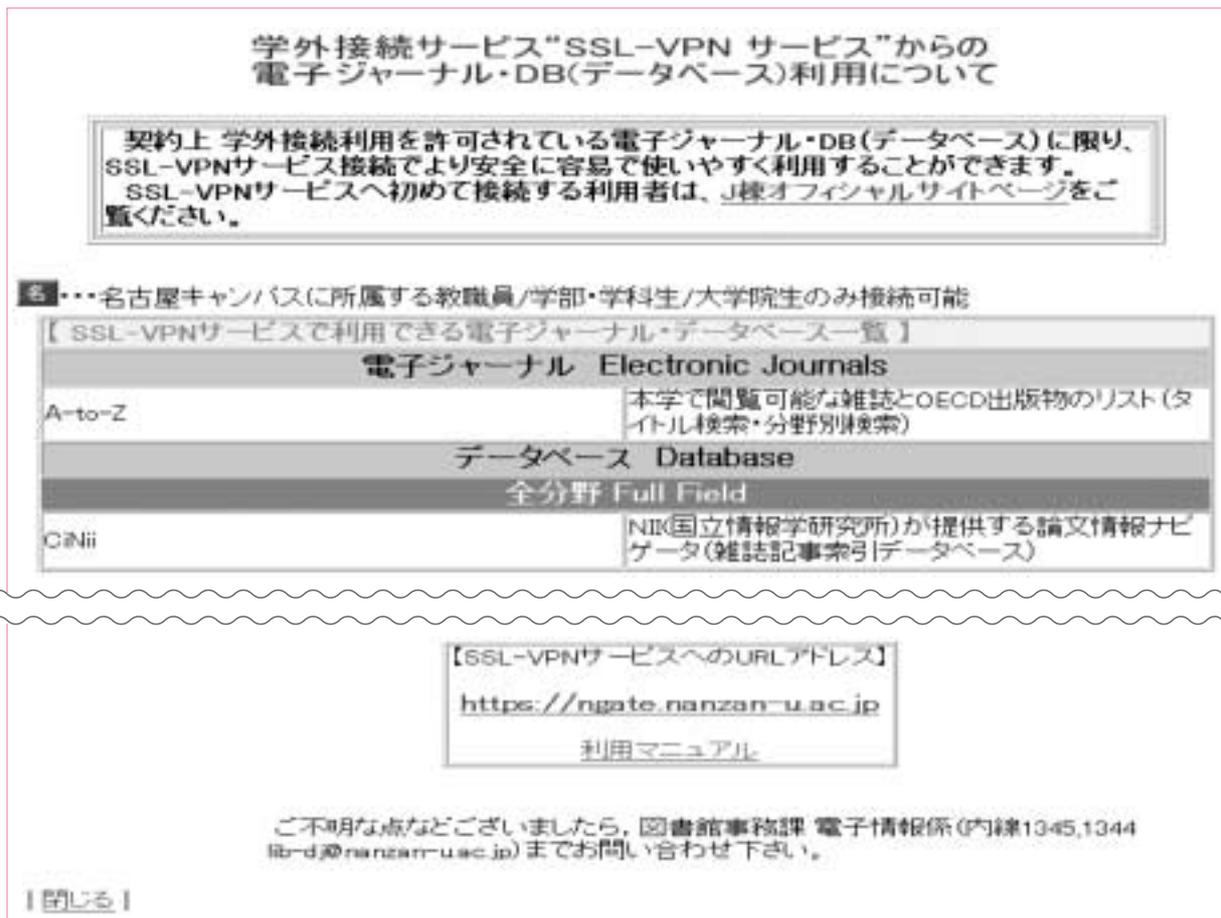
学内からのアクセス用です。  
学外から利用する場合は、ログインボタンからアクセスできません。



正しいアクセス方法

上図のように、各 DB のログイン画面で【SSL-VPN】ボタンをクリックして利用する他に、南山大学 SSL-VPN サービス専用ページ <https://ngate.nanzan-u.ac.jp> から接続する方法があります。図書館 Web ページトップ画面【電子ジャーナル・DB】から【SSL-VPN 利用】をクリックし、SSL-VPN について内容確認し、専用ページに進みログインしてください。利用マニュアルにもリンクしていますので、参考にしてください。

[ SSL-VPN 利用トップ画面 ]



『SSL-VPN 利用マニュアル』は図書館閲覧室に設置してありますので、ご自由にお持ちください。図書館の開館日、開館時間にとらわれないサービスです。是非、ご利用ください。

(ITO, Noriko : 電子情報係 伊藤法子)

# 図書館からのお知らせ



## パスファインダーを始めました 2009.4より

パスファインダー (pathfinder) とは、「道しるべ」のこと。利用者みなさんが特定のテーマについて調べようとしたとき、図書館のどの資料を使えばいいのかわかりやすくまとめた Web 上の情報探索ツールです。アメリカでは40年以上前から、レファレンスサービスの重要な役割を担ってきました。みなさんにはなじみのない言葉かもしれませんが、日本の大学図書館をはじめ公共図書館においても、利用者サービスの観点からパスファインダーを作成しているところが増えてきました。南山大学図書館では今年4月から、CAN (中部大学・愛知学院大学・南山大学) の共同事業として、パスファインダーのページをオープンしました。現在、14件のトピックを掲載していますが、今後、新たなテーマについても順次公開していく予定ですので、ぜひチェックしてください。

### 1. パスファインダーは...たとえるなら、情報の海を旅するときのガイドブックのようなもの

みなさんは旅行のプランを立てるときにガイドブックをよく使いますよね？初心者にもわかりやすいよう、地域別に目的地周辺の名所・旧跡・食事スポット・お土産屋さんなど、旅のポイントを要領よく解説してあるガイドブックは、見知らぬ土地の旅を成功させるために欠かせないアイテムです。同じように、図書館を利用した「文献探し」あるいは「資料探し」に不案内な人へのガイドブック、それがパスファインダーです。文献探し、資料探しにどこから手をつけたらよいのか困っているあなた、ぜひパスファインダーを開いてみてください。きっと自分に必要な資料を見つけるための道が見えてくるはずです。

### 2. パスファインダーは...情報の宝箱です

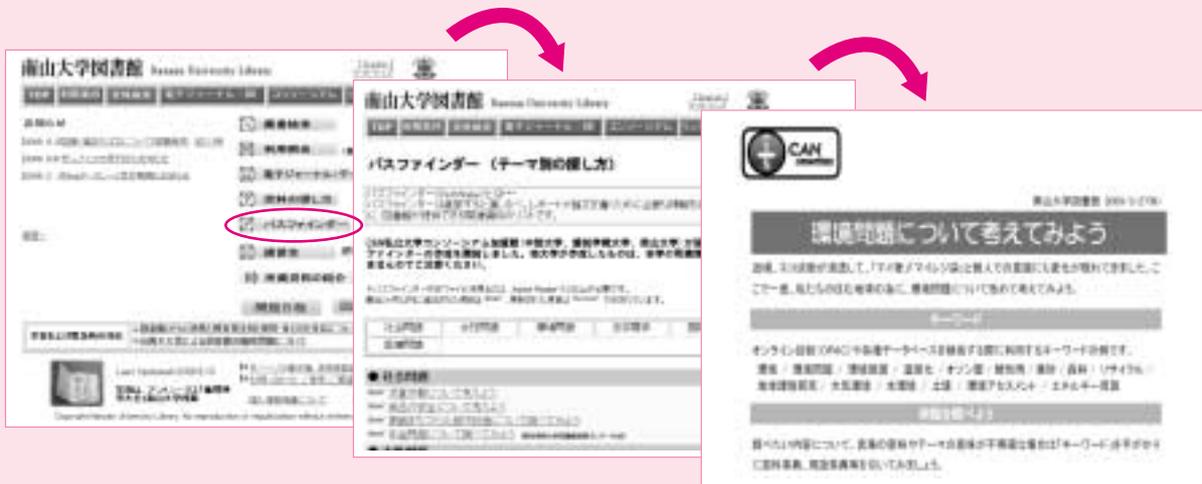
パスファインダーには、その分野の資料探しが初めての人にも役立つ、次のような情報がたくさん詰まっています。

- 調べようとするトピック、テーマの簡単な解説
- 情報検索に使えるキーワードの紹介
- 良く使われる専門用語を調べるための情報源
- 資料探し、文献探しに役立つ便利なツールの紹介
- 学外にある資料の入手方法 など

どうです、これを見ただけでも何だか資料探しがうまくいくような気がしてきませんか？ 次の章から具体的にパスファインダーの使い方をご紹介します。

### 3. パスファインダーは...こんなふうに使います！

図書館 Web ページの“パスファインダー (テーマ別探し方ガイド)” をクリックしてください。



パスファインダーは以下の構成となっています。この順番で探していくと、情報をもれなく集めることができます。

### キーワード

たとえば「環境問題」について調べたいとき、どう探したらよいのか見当がつかない方もいらっしゃると思います。パスファインダーでは、「環境問題」を調べる際の情報の入り口として、最初に様々なキーワードを紹介しています。

### 用語を調べよう

調べたいテーマの意味が不明確な場合は、「キーワード」を手がかりに百科事典や辞書類をひいてみましょう。調べたいテーマの基本的な知識を得ることができますし、同義語・関連語など新たなキーワードを得ることもできます。ここでは本学で利用できる参考図書の一例を紹介しています。

### 図書を探そう

皆さんに一番身近な図書館である大学の図書館で所蔵を調べてみましょう。特定のテーマで検索する場合は、分類番号で検索すると便利です。

### 雑誌・新聞記事を探してみよう

図書館には図書だけではなく雑誌や新聞もあります。最新の情報を得るには雑誌記事や新聞記事を当たってみましょう。

### テーマに関連する Web サイト

昨今インターネットでしか得られない情報も多くありますが、「環境問題」と検索するとあまりに多くの情報があり、どのサイトが有用なのか選び出すのに困ったことはありませんか。パスファインダーでは、図書館員が学習に有用だと思われるサイトを厳選して紹介しています。

## 4. 他大学・他機関にはこんなパスファインダーがあります！

### 愛知淑徳大学 ([http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/j/netresource\\_j/pf\\_j.html](http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/j/netresource_j/pf_j.html))

パスファインダー作成に早くから積極的に取り組んでいる大学です。テーマ別に作成されたトピックごとに検索できます。

### 名古屋大学 (<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/literacy/index.html>)

配布用リーフレット版が名古屋大学図書館内に設置してあります。ミッチー&しるべえ(道しるべ?! )というキャラクターが登場しているものも！

### 国立国会図書館リサーチナビ (<http://rnavi.ndl.go.jp/>)

国会図書館作成。多岐にわたる分野でトピックが取り上げられており、充実したサイトです。国会図書館が公開する他のデータベースへのリンクも便利です！

### パスファインダーバンク ([http://www.jaspul.org/e-kenkyu/kikaku/pfb/pfb\\_frameset.htm](http://www.jaspul.org/e-kenkyu/kikaku/pfb/pfb_frameset.htm))

各大学図書館のパスファインダーを蓄積したデータベースです。

### 公共図書館パスファインダーリンク集 (<http://www.ndl.go.jp/jp/data/theme/pathfinderlinks.html#>)

公共図書館作成のパスファインダー。大学図書館のものとはまた違った公共図書館ならではのトピックも取り上げられています。

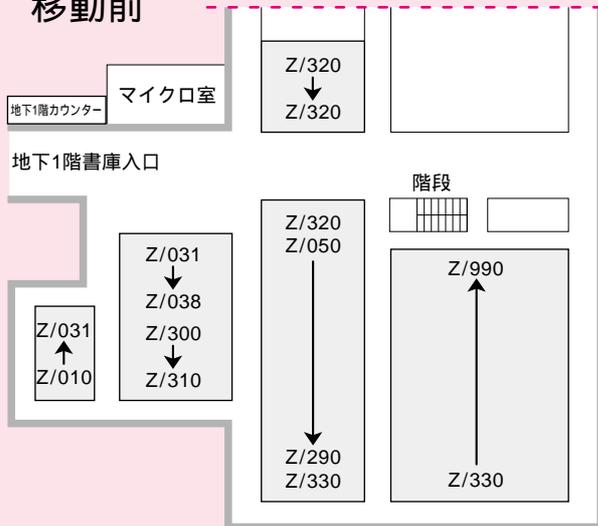
### パスファインダーと並行して...

南山大学図書館の Web ページでは、どの分野にも共通する基本的な調査の方法を参考資料とともにコンテンツ「資料の探し方」で案内しています。パスファインダー利用の際にもきっと役立つので、ぜひチェックしてくださいね！

# 名古屋図書館 地下1階書庫の配架場所の変更

地下1階書庫の蔵書（製本雑誌）を移動しましたので、お知らせします。

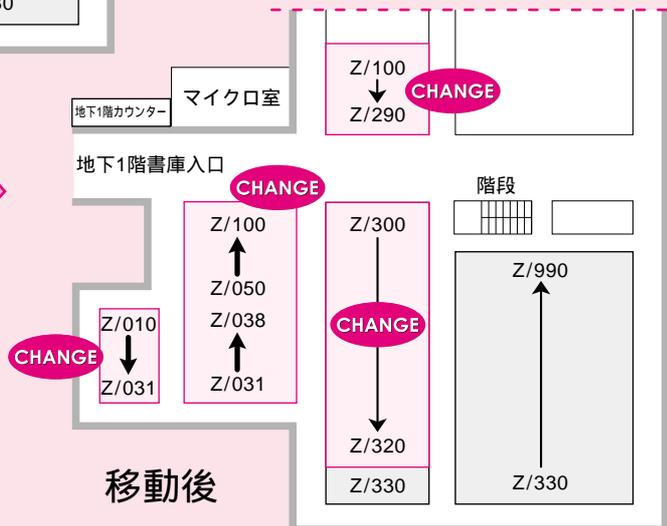
移動前



## 蔵書移動の詳細

Z/010～Z/320の製本雑誌を請求番号順に並べかえました。

今までの不連続が解消され、棚間の移動が簡単になりました！



移動後

# 雨の日には“しずくり～ん”(傘ふり場)登場！

名古屋図書館入口に設置しました。



傘をパタパタッと振って、しずくを落としてくださいね。



(閲覧・参考係)



## 図書館広報活動研修に参加して

安田 初穂



中学生の時に図書館委員会に入ってから、「図書館で働きたい」というのが私の将来の夢です。大学の図書館で研修生募集の掲示を見つけたとき、すぐに応募させていただきました。私は、多くの方々に図書館を利用してもらうための様々な活動に興味があったので、広報活動の研修を希望しました。広報活動では、たくさんの方に図書館を利用してもらうための掲示物作成を始め、

効果的な情報検索の方法を利用者の方に学んでもらう「利用者講習会」などの活動を行っていると教えていただきました。

私は、掲示物作成と利用者講習会のアシスタントとして研修活動に参加しました。掲示物作成では、多くの人にとって見やすく、また同時に興味も持ってもらえるようなものを作るために資料の配置や文字の大きさに注意しました。図書館員の方々に沢山のアドバイスを頂き、また図書館員の方々は図書館を快適に利用してもらうために様々な工夫や苦勞をされているのだと知りました。利用者講習会のアシスタントでは上手に利用者の方にアドバイスができなかったのが残念ですが、非常に良い経験をさせていただいたと感じています。秋学期も引き続き研修生として活動させていただくので、今回の経験を生かして図書館について学びたいです。



(YASUDA, Hatsuho : 図書館研修生)

# 資料紹介

テーマ

「旅」

月日は百代の過客にして、行きかふ年も又旅人也。舟の上に生涯をうかべ、馬の口とらえて老をむかふる物は、日々旅にして旅を栖とす。

- 松尾芭蕉『おくのほそ道』

古今東西、人はなぜ旅に出るのでしょうか。  
所蔵資料から「旅をめぐる図書」を紹介します。



文学に見る旅 日本文学史上の紀行文・旅をモチーフにした作品です。

芭蕉自筆 奥の細道 / 松尾芭蕉 915K/356 名古屋

芭蕉自筆の草稿本を写真で再現。

絵図に見る東海道中膝栗毛 / 旅の文化研究所 913K/2977 名古屋

挿絵を交えて、江戸の旅風俗を読み解く。

五足の靴 / 五人づれ 081K/245-1/v.0-387 名古屋

「五人づれ」とは北原白秋、平野萬里、太田正雄(木下杢太郎)、吉井勇と与謝野鉄幹。

温泉めぐり / 田山花袋 081K/245-1/v.0-388 名古屋

全国の温泉を素朴に記した紀行文。



新しい世界との出会い 旅は新しい世界の発見でもありました。

シュリーマン旅行記清国・日本 / ハインリッヒ・シュリーマン

081K/2418/v.0-856 名古屋

トロイア遺跡発見で有名なシュリーマンのアジア旅行記。

英国人写真家の見た明治日本 / ハーバード・G・ボンティング

081K/2418/v.0-1181 名古屋 081L/2418/v.0-1181/A 瀬戸

写真とともに当時の日本の様子を描写。

ノアノア / ポール・ゴーガン 081K/2446/v.0-332 名古屋

南国タヒチに移り住んだ印象派画家の滞在記。

悲しき熱帯 上・下 / マリノフスキー・レヴィ = ストロース

389.4L/22/v.1~2 瀬戸 ほか



ふらんすへ行きたしと思へども ふらんすはあまりに遠し  
せめては新しき背広をきて きまなる旅にいでてみん。

- 萩原朔太郎『純情小曲集』「旅上」

世界が狭くなった現代、いまや旅も身近になりました。それぞれの時代の旅のかたち。



### 現代の旅人たち

街道をゆく 全43巻 / 司馬遼太郎 915K/353/v.1~v.43 名古屋 915F/2/v.0~12 視聴覚  
第43巻は名古屋が舞台となっている。

河童が覗いたインド / 妹尾河童 302.2K/475 名古屋  
インド旅行のエッセイ。イラスト入りで楽しい。

深夜特急 全6巻 / 沢木耕太郎 081K/2367-2/v.0-23-1~v.0-23-6 名古屋  
世代を越えて読み継がれる放浪記。

五木寛之 全紀行 全6巻 / 五木寛之 915K/405/v.1~6 名古屋  
チェコでは「ミスター・イツスキー」と呼ばれたらしい。

東南アジアの鉄道、北京・モスクワの旅（世界の車窓から 世界一周鉄道の旅：5大陸、  
55ヶ国列車の旅） / TV 朝日ソフト事業部（ビデオ） D/290L/53 瀬戸マルチ  
訪問国はミャンマー・タイ・マレーシア・シンガポール・インドネシア・ベトナム・  
中国・カザフスタン・ロシア。

関口知宏の中国鉄道大紀行 最長片道ルート36,000kmをゆく（DVD）  
D/290L/62/v.0-1-1~0-2-4 瀬戸マルチ  
NHK・BSで放映された鉄道番組シリーズ。



### 各種旅行ガイド

フランス美術鑑賞紀行 1・2 702K/1269/v.1~2 名古屋

死ぬまでに一度は行きたい世界の1000カ所  
：南北アメリカ編 / ヨーロッパ編 / アジア・アフリカ編 名古屋ブラウジング

旅の手帖 名古屋・瀬戸ブラウジング

みなさんも旅に出かけたくなりましたか？時間のたっぷりある学生時代、楽しい思い出をたくさん作ってくださいね。すぐには出かけられない人も、図書館には旅の気分を味わえる資料がたくさん揃っています。ぜひ気軽にのぞいてみてください。思わぬ出会いがあるかもしれませんよ。お待ちしております！



(NANBU, Ayako : 図書選定委員 南部 綾子)

## 2009年度 秋学期図書館利用講習会 開催のお知らせ 【名古屋図書館・瀬戸図書館 共通】

今秋学期も図書館利用講習会を開催いたします

図書館は本や雑誌が置いてあるだけの場所ではありません！

データベースやインターネット、その他様々な情報にアクセス出来る環境が整えられた、とっても便利な施設です。上手な利用法を知り、みなさんの学生生活に役立てましょう

初めて資料集めをする方や、あまり図書館を利用したことのない方、過去にも講習会を受けた方、みなさんの要望にあわせた内容でオリジナルのプログラムをご用意いたします！

卒論の資料集めや、就活の企業情報集めに役立つ情報がいっぱいです！

**開催期間** 10月1日(木)～11月30日(月) 授業日の月～金  
\* 5限以降、および土・日曜日は開催いたしません。

**開催内容** 個人・グループ向け講習会(学部生・院生対象/所要時間:60分)  
ゼミ・授業単位の講習会(ゼミ・授業単位対象/所要時間:90分)

**申込先** 受講を希望するキャンパスの図書館レファレンス・カウンター  
\* 先着順で受付いたします。

詳細は図書館 Web ページ、または館内掲示等にてご案内いたします。

お問い合わせは、各キャンパスの図書館レファレンス・カウンターまでお気軽にどうぞ！

### 南山大学図書館 秋の企画展

## 『カトリック布教用図版展』

～中国布教画を中心として～

#### 瀬戸キャンパス

期間 2009年10月17日(土)～2009年10月25日(日)  
場所 瀬戸図書館 ブラウジングコーナー 横

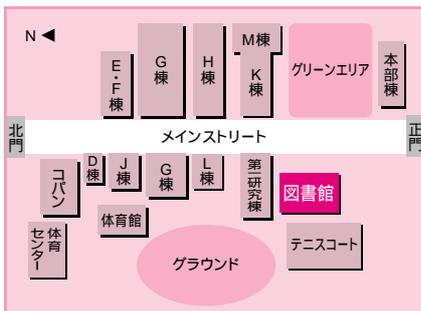
#### 名古屋キャンパス

期間 2009年10月27日(火)～2009年11月8日(日)  
場所 名古屋図書館 1階ブラウジングコーナー

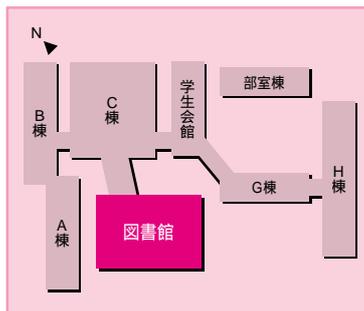
図書館で所蔵するカトリック関連の貴重な資料を展示します。普段は目にすることができませんので、この機会にぜひ一度図書館をのぞいてみてください。

#### 《編集後記》

図書館では秋の企画展として、中国を中心とした各国の布教画展示を行っています。非常に珍しい中国様式のキリスト像など、貴重な資料ばかりなので見る価値大ですよ！(齋藤)



<名古屋キャンパス>



<瀬戸キャンパス>

南山大学図書館報 デュナミス No.56

2009. 10. 1 発行

<http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/>

発行: 南山大学図書館 広報委員会

編集委員: 中島、齋藤、山辺

印刷: 一誠社

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18

Phone:052(832)3707/Fax:052(833)6986

図書館Webページでもご覧いただけます。